

実習内容
ならびに
スケジュール

ささやま医療センター（2週間コース/地域枠4週間）

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	8:30 ～ 13:00	外来実習（初診・再診・AI問診・健診等） 昼食・休憩	指導医・上級医・研修医 外来看護師	8:30	外来受付A・健診センター等
	14:00 ～ 17:00	選択実習（午後診/入院患者対応） 症例振り返り 症例ディスカッション レポート作成	指導医・上級医・研修医 外来看護師 指導医・上級医		
火	8:30 ～ 13:00	外来実習（初診・再診・AI問診・健診等） 昼食・休憩	指導医・上級医・研修医 外来看護師	8:30	外来受付A・健診センター等
	14:00 ～ 17:00	選択実習（午後診/入院患者対応） 症例振り返り 訪問診療※地域枠4W対象 症例ディスカッション レポート作成	指導医・上級医・研修医 外来看護師 訪問診療医 指導医・上級医		
水	8:30 ～ 13:00	外来実習（初診・再診・AI問診・健診等） 昼食・休憩	指導医・上級医・研修医 外来看護師	8:30	外来受付A・健診センター等
	14:00 16:00 ～ 17:00	選択実習（午後診/入院患者対応） 症例振り返り 地域総合医療学カンファレンス	指導医・上級医・研修医 外来看護師・病棟看護師 指導医・上級医・研修医	 16:00	 第1会議室
木	8:30 ～ 13:00	老健回診 外来実習（初診・再診・AI問診・健診等） 昼食・休憩	指導医・上級医・研修医 外来看護師	8:30	老健事務室 外来受付A 健診センター等
	14:00 ～ 17:00	選択実習（午後診/入院患者対応） 症例振り返り 症例ディスカッション レポート作成	指導医・上級医・研修医 外来看護師 指導医・上級医		
金	8:30 ～ 13:00	外来実習（初診・再診・AI問診・健診等） 昼食・休憩	指導医・上級医・研修医 外来看護師	8:30	外来受付A・健診センター等
	14:00 ～ 17:00	選択実習（午後診/入院患者対応） 症例振り返り 訪問診療※地域枠4W対象 症例ディスカッション ※最終日は実習成果発表・総括あり	指導医・上級医・研修医 外来看護師 訪問診療医 指導医・上級医		

◎ 診療科名： ささやま医療センター（2 週間コース）

◎ 責任者氏名： 藤岡 宏幸 病院長・主任教授

◎ 指導教員氏名： 後藤 雅史 准教授、中山 真美 准教授

宮脇 淳志 准教授

井上 淳一 講師、中野 範 臨床講師

金田 好弘 助教、神原 俊一郎 助教

道上 祐己 助教、沖津 広樹 助教

岩佐 沙弥 助教

◎ 実習概要

地域包括ケアとプライマリ・ケアの現場で業務に参加し、以下の実習を行う。

（1）診療実習

① 初診外来

- AI問診Ubieで入力された、問診、トリアージを使用して、臨床推論とトリアージを実習する

② 再診及び継続外来、回復期入院症例

- 継続通院しているCommon diseaseのケースについて実習する

③ 健診外来

- 健診受診者の各種測定や腹囲・内臓脂肪測定、眼底写真撮影を担当する

④ 多職種連携教育

- ささやま実習期間中に医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部が合同となって、地域基盤型の多職種連携実習を行う。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

【実習の目標】

1. ささやま医療センターの特長である地域医療、高齢者医療、プライマリ・ケアを学び、その中における総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科の役割を学ぶ。
2. 地域における病院、リハビリテーションセンター、健診センター、老人保健施設および居宅サービスセンターの役割や機能を学ぶ。
3. 地域の住民との交流を通じて地域の課題を考え・意見を述べることができる。
4. 多職種の専門性を活かしたチーム医療を学ぶ。
5. 生と死について考え、アドバンス・ケア・プランニングについて理解する。
6. 様々な病気や障がいを持つ患者の気持ちやニーズを理解する。
7. 頻度や重要性の高い疾患の病因・病態を理解し、診断および治療方針説明できる。
8. 医療現場における様々なリスクを説明できる。

【ディプロマ・ポリシーと実習の関連】

- 安全・安心な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を涵養する。
- 医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- 人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。

◎ 事前学修内容(時間)

- 「総合診療学」で学んだことを復習しておくこと（2時間）
- 「リハビリテーション医学」で学んだことを復習しておくこと（2時間）
- 「運動器系の疾患」で学んだことを復習しておくこと（2時間）

◎ 評価方法

(知識、技能、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について十分に知識があり、診断治療方針を述べることができる。	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について知識があり、診断治療方針をある程度理解している。	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について知識がある。	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について知識が乏しい。
	地域医療の役割について十分に知識があり理解している。	地域医療の役割について理解している。	地域医療の役割についてある程度理解している。	地域医療の役割についてあまり理解していない。
技術	医学知識を臨床応用できるレベルに達している。	医学知識をある程度臨床応用できるレベルである。	医学知識を臨床応用するには少し不十分なレベルである。	医学知識が乏しく臨床応用することができない。
態度・実習の取組	実習に積極的に参加し周囲とのコミュニケーションが良好にできる。	実習に参加し周囲とのコミュニケーションができる。	実習に参加はしているが消極的である。	実習に興味を示さず欠席することがある。指導にも従わず危険な行為がみられる。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

第2週の金曜日午後 プレゼンテーション試験、総括

◎ 中間評価とフィードバック

水曜日の総合診療科カンファレンスにてフィードバックをおこなう。

◎ 注意事項

- 実習初日8：30にささやま医療センター2階会議室に集合し、ガイダンスを行う。
- 1～6人に分かれて外来、病棟、手術、検査等を実習する日がある。各自の週間予定は、Moodle2の「配布資料」にあるささやま医療センターで割振っている実習スケジュールを確認すること。
- 17：00～翌8：30 宿直（夜勤）が入る場合あり。（土日を含む。）宿直翌日は「宿直明け休日」を設ける。

1. 週始めの日曜日からささやま医療センター付設の宿舎に泊まることを原則とする。
（前週の水曜日12：00までに教学課にて宿泊手続きを行うこと）
2. 食費、着替え、洗面具などの準備が必要である。
（実習中の昼食は必ず前日に用意して朝持参すること）
3. ささやま医療センターへの交通手段は鉄道、自家用車とも自由であるが、後者の場合くれぐれも交通事故をおこさないように留意されたい。特に冬場は、積雪、凍結などの可能性があるため自家用車は避けること。
4. 学生証及び健康保険証（写）（または遠隔地被扶養者証）は必ず持参すること。
5. 実りある二週間になるように、臨床医の卵として積極的に、かつ真摯な態度で実習に取り組んでももらいたい。
6. 最終総括終了後に以下の2点を提出する。
 - ①実習成果発表のパワーポイントデータ
 - ②実習における学びおよび感想
7. ハッピーマンデーの取り扱いについて
「海の日」、「スポーツの日」、「敬老の日」、「成人の日」は、休診のため臨床実習は休講となります。
 - 2023年7月17日（月）⇒休診のため臨床実習は休講
 - 2023年9月18日（月）⇒休診のため臨床実習は休講
 - 2023年10月9日（月）⇒休診のため臨床実習は休講
 - 2024年 1月8日（月）⇒休診のため臨床実習は休講
8. 新型コロナウイルス感染症対応等に関連して実習内容が変更になる場合があります。

<実習ローテーションについて>

通し番号	実習ローテーション
1、2、3	皮膚科（1 週間） ⇒ 泌尿器科（1 週間） ⇒ ささやま（2 週間）
4、5、6	泌尿器科（1 週間） ⇒ 皮膚科（1 週間） ⇒ ささやま（2 週間）
7、8	ささやま（2 週間） ⇒ 皮膚科（1 週間） ⇒ 泌尿器科（1 週間）
9、10、11	ささやま（2 週間） ⇒ 泌尿器科（1 週間） ⇒ 皮膚科（1 週間）

◎ 診療科名： ささやま医療センター（地域枠 4 週間）

◎ 責任者氏名： 藤岡 宏幸 病院長・主任教授

◎ 指導教員氏名： 後藤 雅史 准教授、中山 真美 准教授

宮脇 淳志 准教授

井上 淳一 講師、中野 範 臨床講師

金田 好弘 助教、神原 俊一郎 助教

道上 祐己 助教、沖津 広樹 助教

岩佐 沙弥 助教

◎ 実習概要

地域包括ケアとプライマリ・ケアの現場で業務に参加し、以下の実習を行う。

（１）診療実習

① 初診外来

- AI問診Ubieで入力された、問診、トリアージを使用して、臨床推論とトリアージを実習する

② 再診及び継続外来、回復期入院症例

- 継続通院しているCommon diseaseのケースについて実習する

③ 健診外来

- 健診受診者の各種測定や腹囲・内臓脂肪測定、眼底写真撮影を担当する

④ 多職種連携教育

- ささやま実習期間中に医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部が合同となって、地域基盤型の多職種連携実習を行う。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

【実習の目標】

1. ささやま医療センターの特長である地域医療、高齢者医療、プライマリ・ケアを学び、その中における総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科の役割を学ぶ。
2. 地域における病院、リハビリテーションセンター、健診センター、老人保健施設および居宅サービスセンターの役割や機能を学ぶ。
3. 地域の住民との交流を通じて地域の課題を考え・意見を述べることができる。
4. 多職種の専門性を活かしたチーム医療を学ぶ。
5. 生と死について考え、アドバンス・ケア・プランニングについて理解する。
6. 様々な病気や障がいを持つ患者の気持ちやニーズを理解する。
7. 頻度や重要性の高い疾患の病因・病態を理解し、診断および治療方針説明できる。
8. 医療現場における様々なリスクを説明できる。

【ディプロマ・ポリシーと実習の関連】

- 安全・安心な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を涵養する。
- 医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- 人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。

◎ 事前学修内容(時間)

- ・「総合診療学」で学んだことを復習しておくこと（2時間）
- ・「リハビリテーション医学」で学んだことを復習しておくこと（2時間）
- ・「運動器系の疾患」で学んだことを復習しておくこと（2時間）

◎ 評価方法

(知識、技能、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をループリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について十分に知識があり、診断治療方針を述べることができる。	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について知識があり、診断治療方針をある程度理解している。	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について知識がある。	プライマリ・ケア、総合診療科、内科、整形外科、リハビリテーション科について知識が乏しい。
	地域医療の役割について十分に知識があり理解している。	地域医療の役割について理解している。	地域医療の役割についてある程度理解している。	地域医療の役割についてあまり理解していない。
技術	医学知識を臨床応用できるレベルに達している。	医学知識をある程度臨床応用できるレベルである。	医学知識を臨床応用するには少し不十分なレベルである。	医学知識が乏しく臨床応用することができない。
態度・実習の取組	実習に積極的に参加し周囲とのコミュニケーションが良好にできる。	実習に参加し周囲とのコミュニケーションができる。	実習に参加はしているが消極的である。	実習に興味を示さず欠席することがある。指導にも従わず危険な行為がみられる。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

第 4 週の金曜午後 プレゼンテーション試験、総括

◎ 中間評価とフィードバック

水曜日の総合診療科カンファレンスにてフィードバックをおこなう。

◎ 注意事項

- 実習初日 8:30 にささやま医療センター2階会議室に集合し、ガイダンスを行う。
 - 外来、病棟、手術、検査等を実習する日がある。各自の週間予定は、Moodle2 の「配布資料」にあるささやま医療センターで割振っている実習スケジュールを確認すること。
1. 週始めの日曜日からささやま医療センター付設の宿舎に泊まることを原則とする。
(前週の水曜日 12:00 までに教学課にて宿泊手続きを行うこと)
 2. 食費、着替え、洗面具などの準備が必要である。
(実習中の昼食は必ず前日に用意して朝持参すること)
 3. ささやま医療センターへの交通手段は鉄道、自家用車とも自由であるが、後者の場合くれぐれも交通事故をおさないように留意されたい。特に冬場は、積雪、凍結などの可能性があるため自家用車は避けること。
 4. 学生証及び健康保険証(写)(または遠隔地被扶養者証)は必ず持参すること。
 5. 実りある四週間になるように、臨床医の卵として積極的に、かつ真摯な態度で実習に取り組んでももらいたい。
 6. 最終総括終了後に以下の2点を提出する。
 - ①実習成果発表のパワーポイントデータ
 - ②実習における学びおよび感想
 7. ハッピーマンデーの取り扱いについて
「海の日」、「スポーツの日」、「敬老の日」、「成人の日」は、休診のため臨床実習は休講となります。
 - 2023年7月17日(月)⇒休診のため臨床実習は休講
 - 2023年9月18日(月)⇒休診のため臨床実習は休講
 - 2023年10月9日(月)⇒休診のため臨床実習は休講
 - 2024年 1月8日(月)⇒休診のため臨床実習は休講
 8. 新型コロナウイルス感染症対応等に関連して実習内容が変更になる場合があります。